

実践勉強会開催レポート

TKC神奈川会

とき：令和7年11月20日(木)
ところ：横浜SCGサービスセンター

TKC神奈川会は「月次決算体制の構築支援」実践勉強会を支部単位など会員向けの八つの勉強会と、幹部職員対象とに分けて開催している。幹部職員向け勉強会は神奈川研修所長の紙屋司朗会員がリーダーとなつて進行している。第2回となる今回は19名が参加した。



神奈川会(11月20日)

紙屋会員から365日変動損益計算書、得意先順位月報、証券「こう使う！」を視聴した。

私はFXクラウドをこう見る！

「経営者、経理担当者に聞く！」

「どう使う！」

10月から「月次決算体制の構築

TKC北陸会 福井県支部
とき：令和7年12月9日(火)
ところ：福井フェニックスホテル

意見が多く挙がった。次回はFXクラウドの巡回監査機能をテーマに開催する予定である。
(神奈川会事務局長 山崎希世視)



北陸会(12月9日)

関与先経営者にどのように説明しているか共有

第2回のテーマは「FXクラウドの徹底活用」。月次決算体制の構築に向けて関与先企業にFXクラウドの特長ある機能をどうすれば活用してもらえるか

月次巡回監査の徹底と書面添付作成の重要性を強調

今回の勉強会では、福井県支部のトップランナーである中西宏爾会員が講師を務め、テキス

憑保存機能などのデモが行われ、参加者から関与先経営者にどのように説明しているか、証憑保有機能をどのように活用しているかの事例が共有された。「巡回監査の際、経営者に積極的に機能を紹介し、まずは見てもらうことことが重要」、「あることは知っていたが、関与先に利用を勧めていない機能もあつた。大変参考になつた」など、前向きな意見が多く挙がつた。次回は

松岡茂北陸会会長が、令和8年12月末までに減少傾向にある巡回監査の実施関与先数を増やす方針を改めて示した。

ト「TKC会計人業務の未来設計」の第2部第1章「FXクラウドシリーズと効率的な巡回監査」を解説した。中西会員は税理士の4大業務を展開するためにも、月次巡回監査とTKCシステムが必要不可欠であることを示し、さらに税理士法第45条で求められる相当注意義務の履行について、懲戒事例を踏まえて解説した。特に、月次巡回監査の徹底と書面添付作成の重要性を強調した。

提出書類の名称については、事務所ルールに基づき「など」や「すべての」は一切使わず限定列举し、事務所の法的防衛を徹底するための書面添付の記載事例などを具体的に紹介した。

参加者は、事前課題として『TKC会計人業務の未来設計実践ワークシート』に取り組み、今回は、「FXクラウドシリーズを徹底活用し、TKC方式の自動化に取り組もう!」をテーマに発表と情報交換を行った。

現状の事務所のクラウド利用

めにも、月次巡回監査とTKCシステムが必要不可欠であることを示し、さらに税理士法第45条で求められる相当注意義務の履行について、懲戒事例を踏まえて解説した。特に、月次巡回監査の徹底と書面添付作成の重要性を強調した。

割合や令和8年12月末までの目標を宣言し、クラウド移行によるメリットが共有された。事務所の取り組み事例や今後の活動計画を議論した。当日は、巡回監査実施関与先数の推移など進捗状況を共有し、参加者同士が互いに高め合う場として当勉強会を形成できるよう、TKC全国会表彰への積極的なエントリーを促された。

（福井SCGサービスセンター長 栗山直大）

と
き：令和7年12月12日（金）
ところ：北海道SCGサービスセンター

TKC北海道会

グループごとに開催することでの特徴を持たせる

TKC北海道会では、トップランナー12名による勉強会が各地で開催されている。この勉強会は支部単位ではなく、グループごとに開催することで特徴を持たせ、実務に活かしやすくしている。開催にあたり、各グル

グループごとに開催する「ひとじ
特徴を持たせる

北海道会(12月12日)

一
レ
ー
ブ
で
は
開
催
要
領
を
事
前
に
作
成
し
て
お
り
、
着
実
な
意
識
づ
け
を
目
指
す
こ
と
が
決
め
ら
れ
て
い
る。
菅
野
浩
副
会
長
が
ト
ッ
プ
ラ
ン
ナ
ー
と
な
り
、
6
名
で
構
成
さ
れ
る
グ
ル
ー
ブ
に
お
い
て
、
初
回
の
勉
強
会
が
開
催
さ
れ
た。
開
催
要
領
を
全
員
で
確
認
し
、
『
T
K
C
会
計
人
業
務
の
未
来
設
計
』
の
テ
キ
ス
ト
に
つ
い
て
、
菅
野
副
会
長
よ
り
ポ
イ
ン
ト
解
説
と
、
問
題
提
起
が
行
わ
れ
た。
そ
れ
を
も
と
に
活
発
な
意
見
交
換
が
行
わ
れ
、
『
テ
キ
ス
ト
の
存
在
は
知
つ
わ
れ
、

ていたが、今回の勉強会を通して大変良い教材であることをあらためて実感した。」「テキスト内の税務行政3.0の方向性を考慮すると、付加価値業務ができるないと税理士事務所の職域が危うくなる」などの声があった。

また、「求人があたって、税理士という職業を理解してもらうことに苦労することが多い」という悩みに対しても、「税理士の4大業務の図を使うと説明しやすい」という意見が紹介さ

この実践勉強会を後押する
のが、TKC全国会運動方針を
地域会で浸透させるために発足
された「北海道会MIRAIプロ
ジェクト」である。毎月開催
される北海道会正副会長会議で
実践勉強会の開催状況とプロジェ
クトの進捗が共有されること
で、地域会が一体となつて実践
勉強会を盛り上げながら、勉強
会後のフォローに繋がる体制づ
くりに取り組まれている。

(北海道SCGサービスセンター長 丹野宏亮)